

## 第1回独立行政法人農林漁業信用基金農業信用保険業務運営委員会 議事概要

### 1 開会の日時及び場所

- (1) 日時 平成28年3月10日(木) 13時30分
- (2) 場所 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル5階  
独立行政法人農林漁業信用基金 第2会議室

### 2 出席者

- (1) 運営委員  
明石委員、朝田委員、浄園委員、羽貝委員、山田委員、  
大和久委員、斎藤委員、谷口委員、佛田委員、水上委員  
(出資者・学識経験者別 五十音順)
- (2) 信用基金  
堤理事長、石井副理事長、高野総括理事、井田理事、開沼理事
- (3) オブザーバー(主務省)  
山口農林水産省経営局金融調整課長、坂本財務省大臣官房政策金融課課長補佐

### 3 提出議案

- (1) 平成28年度年度計画(案)について

### 4 議事経過の概要及びその結果

- (1) 議事に入る前に、委員会において運営規程を決定し、同規程に基づき運営委員の互選により水上委員が委員長に選出された。委員長は、羽貝委員を委員長の職務を代理する者に指名した。
- (2) 引き続き議事に入り、信用基金から資料に沿って説明がなされた後、審議が行われ、平成28年度年度計画(案)については、原案のとおり了承された。各委員からの主な意見等は以下のとおり。

#### 【質問】

- 現在までの事故率の低減状況、及び回収金収入の達成状況について、教えて頂きたい。
- 信用基金の経営として、特に効果が上がっている取組みを教えて頂きたい。
- 28年度の年度計画(案)における数ある項目の中で、信用基金として特に力を入れている部分はどこか。

この質問について、以下のとおり説明がなされた。

- ・ 事故率の低減については、27年度までは達成している状況にある。回収金収入については、27年12月現在で19億81百万円(27年度計画対比で達成率58.3%)となっており、最終的には、計画額の7割強程度の金額に落ち着くと見ている。
- ・ 数字面では、事業費については、引受審査の厳格化等により保険金の支払いが削減されていること、一般管理費等についても、定められた目標に対して費用削減に取り組んでいる。

- ・ 27年4月から信用リスクに応じた保証・保険料率を導入しているが、28年度においては、信用リスク評価の精緻な計測に向けて、データベース化を開始し、与信上のデータの蓄積を行うこととしている。

また、昨年、年金の個人情報の漏洩という大きな問題が生じたこと等を受けて、27年度に引き続き、情報セキュリティの強化に向けて取り組むとともに、内部統制の強化や統合的リスク管理に取り組むたいと考えている。

**【意見】**

- 事故率の低減を図ることは、信用基金の立場としては、非常に重要なことだと思うが、昨今の農産物価格の低落等により農業経営が厳しい状況に置かれていることを鑑みると、必ずしも事故率が限りなくゼロになるということではないと思う。農業経営を支援するという視点から、事故率というものを是非考えて頂きたい。
- 次回以降で構わないので、事業計画について、各業務ごとに表に整理してもらった方が、議論も含めて意見を申し上げやすいので、検討してもらいたい。また、業務実績評価についても、各業務に係る事業計画とどのように連動しているかを把握できるような資料の整理をお願いしたい。

5 閉会の日時 平成28年3月10日(木) 14時47分

以上